

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年03月25日

計画の名称	持続可能な下水道に向けた処理区統合の推進（重点計画）												
計画の期間	平成29年度～平成29年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	豊橋市												
計画の目標	汚水整備の推進と区域の処理区編入により、生活環境の向上と河川や三河湾などの公共用水域の水質保全を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	354	A	354	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		H29末
1	処理場間の汚水幹線整備率を、20.4%（H28末）から24.9%（H29末）に増加。（野田処理場→中島処理場） 合流区域の処理区編入により、野田処理場から中島処理場へ汚水を送る幹線整備の進捗割合 汚水幹線整備率（%）＝（幹線整備延長（m））／（幹線総延長（m））	20%	%	25%
2	処理場間の汚水幹線整備率を、0.0%（H28末）から29.0%（H29末）に増加。（天伯地区） し尿処理区域の処理区編入により、天伯処理場から中島処理場へ汚水を送る幹線整備の進捗割合 汚水幹線整備率（%）＝（幹線整備延長（m））／（幹線総延長（m））	0%	%	29%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠 (新設	中島処理区 (処理区統合	野田・中島送水管 L=280m、	豊橋市	■					330	3.367	—
		重点アクションプラン																	
	A07-002	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠 (新設	中島処理区 (処理区統合	天伯地区 送水管 L=300m	豊橋市	■					24		—
											小計						354		
											合計						354		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 豊橋市上下水道局（局長、次長、総務課、下水道施設課、下水道整備課）で実施	事後評価の実施時期 平成31年3月
	公表の方法 豊橋市上下水道局HP上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	送水管建設中のため現在のところ効果としては現れていないが、事業については計画通り進捗が図られている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし

○特記事項（今後の方針等）

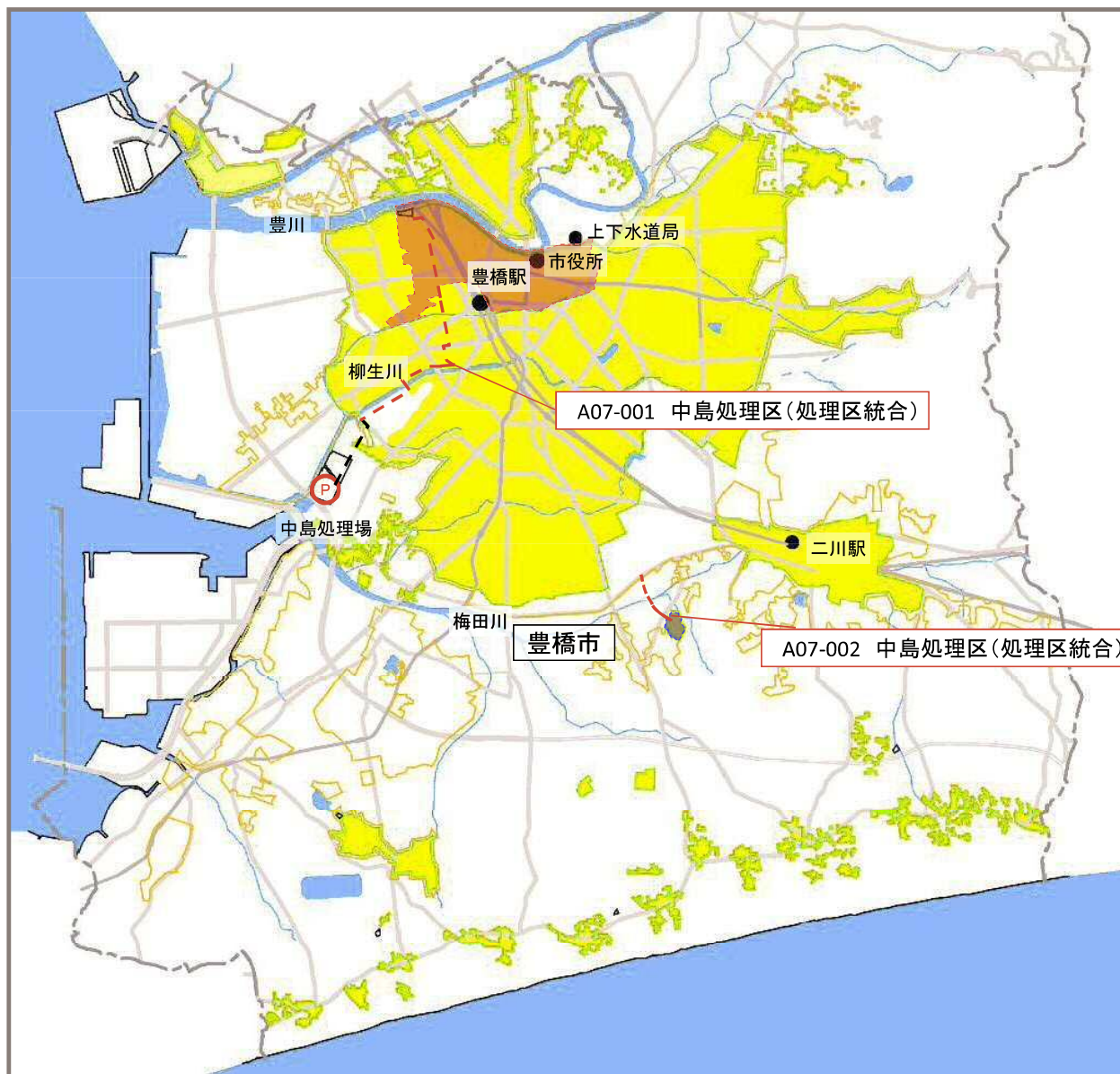
引き続き野田・中島送水管及び天伯地区の送水管建設については、重点化事業に位置付けることにより事業費の確保に努め、早期の整備完了を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	25%
	最終実績値	25%
野田処理場から中島処理場へ汚水を送る幹線整備の進捗割合		
計画通り、事業を実施することができた。		
2	最終目標値	29%
	最終実績値	29%
天伯処理場から中島処理場へ汚水を送る幹線整備の進捗割合		
計画通り、事業を実施することができた。		

(参考図面)

平成 31年 3月 25日

計画の名称	持続可能な下水道に向けた処理区統合の推進 (重点計画)		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成29年度 (1年間)	交付対象	豊橋市



- 凡 例
- 全体計画区域(污水)
 - 下水道法による事業計画区域(污水)
 - 既整備区域(污水)
 - 今回計画事業
 - - H28年度以前施工済み箇所(社会資本)
 - 今回計画箇所